

トチノキの花序 (写真1)

トチノキ

(学名 : *Aesculus turbinate*)
[トチノキ科 トチノキ属]

トチノキは、大きなもので樹高が20~30メートル、直径が2メートルに達し、日本の冷温帯を代表する樹木の一つです。また、人間との関わり合いが深い樹木です。

花期は5月から6月で、枝先に円すい状の花序が直立して咲きます(写真1)。この花からは、甘味が強く、独特な香りのする蜂蜜が取れます。

9月には果実が熟し(写真2)、直径約3センチの種子(トチの実)が地面に落下します。人は、この種子を拾い、アクを抜き、粉に挽いて、米粉やそば粉と混ぜ合わせ、とち餅や煎餅、団子などにします。只見町では、かつては救荒食として利用されましたが、今では嗜好品として賞味するようになっています。

木材は、独特の杓目の美しさから、家具や木工品に使われます。



トチノキの果実 (写真2)

企画展示

○只見の川と水辺の生き物たち

只見の川にすむ魚類と両生類を中心にパネルなどで展示紹介します。

期 間: 7月28日(土)~9月23日(日)

場 所: ただみ・ブナと川のミュージアム

※この広報紙は再生紙を使用しています



※環境にやさしい大豆油インキを使用しています

奥会津ロックフェスティバル'12
2012.9/29 SAT 入場無料
[季の郷 湯ら里] 11:00開場



只見川電源流域振興協議会

TEL 0241-48-5525

FAX 0241-48-5575

URL <http://www.okucizu.net>